



学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



＜卒業生＞

＜祝卒業式、おめでとうございます＞

3月10日(木)に第75回卒業式を挙行了しました。感染症対策のため、規模を縮小して1、2年生は各教室でオンラインによる参加でした。第1部の卒業証書授与式では、担任に呼名され一人ひとりがしっかりと返事をして、卒業証書を受け取りました。その後、学校長式辞、ご来賓の石崎教育長からの教育委員会告示がありました。式はとても厳かで、生徒達の態度や返事から決意や感謝の気持ちが感じられる授与式でした。

第2部のセレモニーでは、在校生の「贈ることば」、卒業生の「感謝のことば」を行いました。「贈ることば」は、在校生代表の阿部月南さんが代表で送辞を読みました。送辞の中盤では、各クラスからのビデオメッセージがスクリーンに映し出しました。各クラスの呼びかけや代表生徒によって、卒業生へ感謝や励ましの言葉が伝えられました。卒業生は、スクリーンに映し出された下級生を真剣な眼差しで観ていました。続いて、卒業生代表の宮川大輝さんが「感謝のことば」を伝えました。3年生の呼びかけには、国中での行事や部活動そして毎日の生活について、熱い思いが込められていました。また、お世話になった先生方への感謝の気持ちや後輩たちへメッセージが伝えられました。セレモニーの中で歌った卒業生による「群青」の合唱は、心に染みてセレモニーを忘れないものにしてくれました。セレモニー終了後「栄光の架け橋」のピアノ演奏でクラスごとに胸を張って退場しました。

最後に送門を行いました。教職員と1、2年生全員で卒業生と保護者を温かい拍手で送り出しました。これからも教職員と生徒全員で卒業生を見守り続けます。新しい世界を大きく羽ばたいてください。おめでとうございます。

翌日の1校時には、学年集会を開き、1、2年生に3年生の先生方から卒業式の準備や「贈ることば」に対して、感謝が伝えられました。また、各学年で卒業式や3年生の「感謝のことば」を振り返り今後の目標等を確認しました。

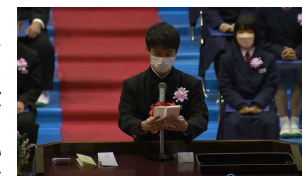
＜卒業生合唱：群青＞



＜卒業証書授与＞



＜贈ることば＞



＜感謝のことば＞



＜送門＞

『学校長式辞』の抜粋

…皆さんは、本校のスローガンでもある「当たり前をこつこつと」を実践していました。「当たり前を」決して疎かにすることなく、何事にも一生懸命に取り組む姿に感心させられることが度々ありました。あいさつ、返事、人の話を聴く姿勢、清掃、整理整頓など、人間としての基礎・基本が、しっかりと身に付いています。また、運動会や駅伝大会、また、委員会活動等では、友人たちとよく協力し、下級生の良き手本となりながら、自主的に練習や活動、準備に取り組む姿が見られました。「学校行事に夢中で取り組む」国中の伝統を確実に引き継ぎ、下級生に伝えてくれました。

…そして、常に、他人への思いやりや感謝の気持ちに富む姿。きっと、本日も、皆さんの心の中は、これまでお世話になった、お家の方や先生方、そして、友人たちなどに対する、感謝の気持ちに満ちあふれていることと思います。そのような皆さんですから、十年後、二十年後、一人ひとりが、その時置かれた立場において、大いに活躍しているものと信じています。

『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』皆さんには、無限の可能性が 있습니다。自分の未来を信じ、仲間と力を合わせ、努力して、一層、飛躍する事を願っています。国中の先生方全員で、皆さんを見守り続けたいと思います。…

『送辞』の抜粋 【阿部月南さん】

…直接、感謝の気持ちを伝えることができませんが、ささやかながら、ビデオメッセージでの「贈ることば」とさせていただきます。どうぞご覧ください。 【ビデオメッセージ】

ご覧いただいたように卒業生の皆様は、確かに私達を温かい手で支え、ここまで引っ張って来ていただきました。大変お世話になりました。たった一つ上の先輩方の背中がどんなに大きく見

えたことでしょう。そんな姿を目指し、今まで必死に追いかけてきました。先輩方が見えないところでどれだけたくさんの努力をしてきたことか私達には計り知れません。それでも常に謙虚で笑顔を絶やさぬ姿に感銘を受けました。

…どうかそれぞれのステージで自分の無限大の可能性を信じ、未来を切り拓いていってください。そのような先輩方を私達は全力で応援します。

それでは、お別れの時間がやって参りました。先輩方のご健康とさらなる飛躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

### 『感謝のこぼれ』の抜粋 【宮川大輝さん】

…しかし、これだけは自信をもって言えます。私達はこの状況にあってもくじけず、懸命に生きてきたと。普段通り、いつも通りではなかったけれど今日までこの仲間と共に前を向いて進んできた。私達がここで過ごした3年間こそが紛れもない事実なのだ。波乱に満ちた3年間、私達が何を思い、何を学び、何を得てきたのか振り返ってみたいと思います。【呼びかけ】

…しかし、そんな中で私達は多くのことを学びました。例えば、3年間の総合的な学習の時間。足尾の鉛毒事件や広島の実験、東日本大震災に関する学習を通して、絶望の淵から立ち上がり、復興を目指す人間の知恵と力。当たり前前の幸せな日常に感謝し、自然や命をかけたがえのないものとして慈しみ尊ぶ心、逆境にあっても互いに支え、支えられることの大切さ。3年掛けて調べ、学び、感じた事柄は、私達の心のよりどころとなるはずだ。

たくさんの思い出と感動を与えてくれた学び舎に別れを告げ、明日から私達は新たな旅に出ます。一人ひとり見える景色は違っても己の信ずる道を力強く歩んでいきます。先生方、後輩の皆様、そしてご臨席の皆様、今日まで本当にありがとうございました。…

最後に皆様への感謝を込め、そして私達のふるさとに思いを寄せて歌います。「群青」をどうぞお聴きください。【合唱(群青)】

## 《校外学習、笑顔でおもてなし！》

2年生が立志記念スキー学習の代替行事として、3月15日(火)に那須ハイランドパークで職場体験を実施しました。スローガンは「『Jump to my dream 未来へ繋げ！』～最高学年へ 笑顔で羽ばたこう～」でした。職場体験は、3グループに分かれて、接客業務等を行いました。事前に「研修マニュアル」で那須ハイランドパークの一員として「おもてなし」「立ち振る舞い」等を確認しました。特に「笑顔を絶やさぬ！お客様に喜んでいただくために行動する」ということを念頭に活動しました。とてもやりがいのある活動で一人ひとりが充実した表情で帰ってきました。最高学年に向けて、決意を新たにできたと思います。ご家庭でもこの体験を通して、学んだことを聞いていただければと思います。



＜担当者からの説明＞



＜観覧車の受付＞

## 《ありがとう week、感謝の輪を広げよう》

3月14日(月)から3月18日(金)に保健委員会が「ありがとう week」を実施しました。1年間、ともに生活した仲間や先生方に感謝の気持ちを伝え、より良い学級を完成させるために行いました。お互いに良い行動に目を向けて「嬉しかったこと」「感謝したいこと」「誰かを褒めたいこと」等を書いて「ありがとうの木」に貼りました。これからも一人ひとりが感謝の気持ちをもって生活できるよう支援して参ります。

＜ありがとうの木＞



## 《高校説明会、将来に向けて進路を考えよう》

3月22日(火)に2年生が進路学習の一環として「高校説明会」を開催しました。2年生と希望した保護者が参加しました。今回は、私立高校5校から具体的に高校生活の様子や各学科の学習内容等について説明していただきました。一人ひとりが真剣に話を聞いて、進路選択に対する関心や意識を高めることができました。今後の学習目標や努力点について支援して参ります。ご家庭でも将来に向けて、お子様と話をする機会にいただければと思います。



＜高校の先生の説明＞

## 《修了式、目標を立てて進級の準備を！》

3月24日(木)に修了式を行いました。1年生154名(代表：安田彩乃さん)、2年生143名(代表：古澤美咲さん)に修了証を授与しました。また、修了記念品を1年代表の坂本詩織さんと2年代表の水井健介さんに渡しました。生徒代表作文では、1年生の米内悠人さんと2年生代表の間舘美空さんが1年間を振り返った反省や新学期に向けての決意を発表しました。学校長式辞では、「毎日を生懸命に過ごす」、「志をもち、学びを続ける」事をお願いしました。春休みに自分自身の事を見つめ直し、心を整理し、エネルギーを蓄えて新学期に備えてもらえればと思います。ご家庭でも進級に向けた準備やご支援よろしくお願いたします。

### ※休業中の緊急時の連絡について

『生徒が事件や事故に遭った場合』『保健所や医師の指示により、お子様や家族の方が陽性者または濃厚接触者と判断された場合』等、学校職員の勤務時間外(休日を含む)に緊急に連絡をすることがあり、学校(Tel.44-0050)に電話したがつながらなかった場合には、**下野市教育委員会学校教育課(Tel.32-8918)に電話**をしてください。その際は、学校教育課職員若しくは警備会社を経由して、本校校長・教頭へ連絡が行くようになっています。また、休業中もLEBERによる体温チェックをお願いいたします。